



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル内
Tel/fax: 03-5577-4687 E-mail: sykoffice21@gmail.com
Web: http://syknet.jimdo.com 郵便振替: 00180-9-81537

No. 122

2020年12月1日発行



ジョン・ウェスレー 1

—ウェスレーの聖書論—

東京フリー・メソジスト教団 桜ヶ丘キリスト教会主任牧師
聖書を読む会理事長、お茶の水聖書学院講師
水口 功

ジョン・ウェスレー(1703-1791)は、英国国教会の司祭としてその生涯を全うした人でしたが、メソジスト運動の創始者としても知られています。87歳で生涯を閉じるまで実に52,000回を越える説教をした説教者であり、「キリスト者の完全」の著者として知られる神学者、社会における貧しい人々を支援した社会活動家、精神疾患の治療のための電気器具を考案した設計士としても用いられた、多彩な賜物の持ち主でした。

筆者は幼い頃、兄と一緒に実家の近くの教会学校に通いましたが、その教会がメソジスト教会でした。後に同教会で洗礼を受け、牧師となる召命を受け、3年半前から同教会で牧会に従事しております。これから「聖書を読む会」(SYK)通信にジョン・ウェスレーの神学と実践について、4回にわたり自らの信仰の体験談を織り混ぜながら紹介いたします。



ジョン・ウェスレー (公有)

ウェスレーは「聖書、理性、体験、伝統」の4つの事を大切にされた人と言われています。しかし彼はこの4つを同列に扱ったのではなく、聖書を土台とした上で、理性、体験、伝統を重視した、と言った方がふさわしいでしょう。「聖書を越えてはならない」と言う彼の言葉がそれを物語っています。「聖書は誤りのない神の言葉である」

という聖書観、いわゆる今日の福音派の共通の基盤にウェスレーは立っていました。それでは聖書を土台とした上での他の3つとの関係で、ウェスレーが強調した点に注目しましょう。

①**理性** 「聖書は人間が読んでわかるようになっている。人間は理性的存在であり、聖書は理性的に読むべきである」とウェスレーは言っています。聖書の言葉が理解され、他の人に伝えていくために、それぞれの人に神が与えておられる理性が用いられると言うのです。このことは、聖書本文を読者が観察し、解釈する聖書の読み方を重んじている SYK の指針と合致します。

②**体験** 「聖書が真理であるかどうかは、体験によって確かめられる」とウェスレーは述べています。聖書の記述を自らが体験することによって、聖書が真理の書であると納得できるのです。これは SYK の手引で、聖書箇所を観察、解釈を前提とした上での適用に関する質問を考え、その分かち合いを行うことで、今日の私たちも味わっている恵みです。ウェスレーは聖書を単に道德の書、歴史の書とはみなさず、体験を通してみことばの真実を知り得ることを強調しました。

③**伝統** ウェスレーの信仰覚醒に影響を及ぼしたグループがモラビア派でした。彼はアメリカに向かう途上の船が、嵐に見舞われ彼自身の心が恐れに覆われた時、モラビア派のクリスチャンたちが嵐の中でも平安な様子で賛美をしていた姿に触れて、衝撃を受けました。それで彼は彼らと急接近した時期がありました。しかし彼らの「聖書が言わなくても、生けるキリストがこう言った」という主観的神秘主義には反対し、それが後に彼らと袂を分かつ要因になりました。

ところでウェスレーが聖書をあらゆる思考と行動の土台に据えたのは、東方正教会の伝統に強い影響を受けたと言われています。東方正教会の修道士たちの霊的行為は「詩篇を歌い、聖書を読み、祈りをすること」でした。それらがその後のキリスト教会の礼拝行為の基礎的要素となりましたが、18 世紀に英国で活躍したウェスレーは、その点で 4 世紀の東方教会の伝統を大切にし、継承したと言えます。

聖書を土台とした上で理性、体験、伝統を重んじる聖書の読み方とその実践は、筆者の今日の歩みの指針となっており、他の人々にも勧めていきたい生き方です。

(次号に続く)

「救いの基礎」について

つつじヶ丘キリスト教会（JECA）をお訪ねし、竹内 豪先生より、「救いの基礎」についてお話を伺いました。

この教会に赴任した一昨春秋、みなさんと共通の福音理解に立って牧会をスタートしたいと考え、「救いの基礎」を8回に分けて礼拝説教で語りました。シリーズの説教の後に、新しく来た方には、個人的に「救いの基礎」を用いて学んでいます。一人のご婦人は2～3か月で信仰告白に導かれました。



これまでの「基礎の学び」は復活までで終わっていましたが、ジョン・ストットが語っているように創造から回復・完成までの全体像を把握する福音理解が大切で、「救いの基礎」には、その基本的枠組みがあります。長く教会に集っている方も、「救いの基礎」が語る基本的な理解に欠けておられることもありますので、信仰の基本を確認するためにも有益だと思います。

また、「救いの基礎」は、分かりやすく良くまとまっています。私は「救いの基礎」を中学生にも使っていますが、彼らにも十分理解できる内容で、最近も信仰に導かれています。

「救いの基礎」は、クリスチャンがこの世界にどのようにかかわっていくかに関しても、よい素材を提供してくれています。学ぶ人のレベルに合わせて、分かりやすく使うことが大切ではないでしょうか。



SYK便り

三団体による「スモールグループ・セミナー」、オンラインで開催

10月10日、Zoomを用いてのスモールグループ・セミナーがもたれました（出席67名）。SYKが応援してきた、聖書を中心としたスモールグループが今、世界で、また日本で必要とされています！！講演原稿はSYKのウェブサイト（「イベント」



ページ）で、そして講演の録画はyoutubeで公開中です（「1010スモールグループ・セミナー 聖書を読む会」で検索）。

手引のお試し版

手引の内容の一部を見ることができるのをご存知ですか。

<https://syknet.jimdo.com/手引ラインナップ/>でお試し版をダウンロードするか、Kindle 版は、<https://www.amazon.co.jp/s?k=聖書を読む会>の各書を開き「試し読み」をクリックしてください。

「使徒の働き」SYK Zoom セミナー 2021 年 2 月開催

手引「使徒の働き」の特徴と、メールグループでの使い方のコツを学びませんか。コロナ禍のなか、オンラインでグループを再開、開始した方にもアドバイスをいたします。今回の、また今後のセミナー等の最新・詳細情報は Facebook か、ウェブサイトの「イベント」ページで (URL は下記)。



新手引「ルカの福音書」発行 出版指定献金を！



(表紙は仮のものです)

今年度中にオリジナル新刊手引「ルカの福音書」を出版する準備を進めています。イエスがメシア（キリスト）であるとはどのような意味があるのでしょうか。イエスと出会った人々はどのように応答していったのでしょうか。旧約聖書とそれに続く中間時代、またローマ帝国とパレスチナの背景を踏まえながら、じっくりと、大著、ルカの福音書を読んでいきます。

出版費用は 48 万円。クリスマス献金として「ルカ」の出版のためご協力ください！

献金はオンライン（クレジットカードも）でも可能です

<https://syknet.jimdo.com/ご支援ください/>からご利用ください。



聖書を読む会 SYK

Eメール：sykoffice21@gmail.com

ウェブサイト：<https://syknet.jimdo.com>

Facebook：<https://www.facebook.com/FB.SYK>